

■ 2004年8月22日(日曜日)

福井豪雨から1カ月

復興に取り組む被災地

福井豪雨から1カ月余り。

県では、水道・電気などのライフラインや、道路や河川などの社会基盤の応急復旧などの対策をほぼ終え、現在は、福井豪雨災害復興推進会議を設置し、1日も早い災害からの復興に向け、住宅の再建、産業の再生、道路や河川の本格的復旧、再度災害の防止などに全力で取り組んでいます。

今後とも、県民の皆様と力を合わせ、元気な福井県を取り戻すため、速やかに強力な対策を実施していきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

被害の状況

今回の福井豪雨では、24時間雨量が福井市一乗地区で338ミリ、美山町美山で285ミリ、鯖江市河和田地区で236ミリを観測し、また、1時間の雨量が美山町で87.5ミリに達するなど、記録的な集中豪雨となり、嶺北地方を中心に甚大な被害を受けました。

○主な被害

【死傷者など】

死者・行方不明者 5人
 重軽傷者 19人
 避難者(最大時点) 9,141人

【住宅被害】

全壊・半壊・一部破損 400世帯以上
 床上・床下浸水 約14,000世帯

【被害金額】

道路・河川等の公共土木施設	約270億円
農地、林道等の農林水産施設	約158億円
水稻、大豆等の農林水産業関係	約18億円
繊維、漆器、和紙等の製造業、商業・サービス業	約110億円
文化、教育、福祉施設等	約50億円
計	約606億円

【鉄道被害】

JR越美北線 橋梁流出 5カ所 等

【ライフラインの被害状況(最大時点)】

停電 6,300世帯
 電話不通 600回線
 断水 3,247世帯



河川などの応急復旧工事を迅速に実施しました



流出した橋梁(池田町)

生活と住宅の再建に向けて

被災された世帯の臨時の出費に充てていただくため、全国から寄せられた義援金をもとに「緊急被災者支援金」を創設

しました。被災された皆さんの手元に届くよう、関係市町村と連携して8月6日から順次取り組んでいます。

また、被災者の住宅環境に対する支援策も行われています。美山町では、お盆の前に蔵作地区など7地区の被災された方々が仮設住宅に入居しました。住宅へ家具を搬入したり、設備の使い方の説明を受ける住民の皆さんは、「やっと家族で落ち着いて暮らせる」と安堵の表情を浮かべていました。



仮設住宅への入居も行われました(美山町)

産業の再生に向けて

事業所や機械設備などに被害を受けた繊維、眼鏡、機械、商業、サービス業などの多くの企業では、生産活動や営業活動を再開しています。

特に、大きな被害を受けた伝統的工芸品の産地では、県や全国から寄せられた支援を糧に、驚くほど短期間に復興してきています。

越前漆器の産地から

越前漆器は、分業で成り立っており、その一つが欠けても産地として成り立たなくなってしまう。被災直後は、廃業を口にする関係者も多く、まさに産地の危機でした。

しかし、全国から寄せられるご支援に接し、産地全体に「恩返しは復興で」との思いが広がり、多くの事業所が再起しました。

物的損害は計り知れないものがありますが、身に付いた技術や産地のノウハウが失われたわけではありません。

この試練をチャンスと捉え、県などの支援策を活用しながら、産地の復興に向けて前向きに取り組んでいきます。



床上浸水した作業場で生産活動を再開しています(鯖江市)

越前和紙の産地から

被災直後は、あまりの被害の大きさに元気を失っていました。しかし、ボランティアを始めとする全国の皆さんからの励ましや県などの手厚い支援策を受け、気を取り直し、ほとんどが生産や営業を再開しています。

現在は、夏場で十分な水量が確保できないうえ、豪雨の影響でまだ水が濁っているため、残念ながら、産地全体での本格的な生産活動の再開には至っていません。

しかし、1日も早く、産地全体が元気を取り戻せるようがんばりたいです。



浸水した工場生産活動を再開しています(今立町)

ハナエチゼン、コシヒカリなど水稻の収穫ができない被災地区の刈取り作業の緊急的な支援や、特に被災の激しい集落や認定農業者等に営農継続のための重点指導など農業の復興に向けた取り組みも始まっています。

○河川、道路、砂防施設、農林施設の復旧等

- ・ 県民の生活や生産活動を支える社会基盤の早期復旧を目指し、工事に着手します。

河川	： 河川破損した護岸の復旧、河道内の土砂の除去、河川の拡幅、堤防の嵩上げ、河床掘削等
道路	： 崩壊した道路の法面や路肩等の復旧
砂防施設等	： 破損した溪流護岸等の復旧
農林施設	： 農地、水利施設、林道、治山施設、農山村生活環境施設等の復旧

- ・ 足羽川の再度災害の防止のため、河川激甚災害対策特別緊急事業の採択に向けて8月11日に「足羽川激特事業対策準備室」を設置しました。
- ・ 学識経験者等による「足羽川洪水災害調査対策検討会」や「山間集落豪雨災害対策検討委員会」を設置し、今後の治水対策の方向性や豪雨災害に強い農山村づくりについて検討しています。

○教育・文化、社会福祉施設の復旧等

- ・ 学校、高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童館、保育所などでは、一部を除き復旧しています。今後は、建物の床や敷地内の傾斜面の工事などを実施します。
- ・ 被災児童・生徒に対し、スクールカウンセラーによる「こころの元気」回復応援事業などを実施しています。
- ・ 一乗谷朝倉氏遺跡では、復原街並、主な庭園等約1時間の周遊地域が仮オープンしています。資料館・埋蔵文化財調査センターは、10月からエントランスロビー等を利用して展示を再開する予定で、年度内の本格復旧を目指します。
- ・ 福井県若者就職支援センター(ふくいジョブカフェ)は、福井商工会議所ビル内での業務を再開しました。

復旧に向けて寄せられた支援の輪

県内外から6万人を超えるボランティアが続々と復旧作業への支援に駆けつけました。連日の猛暑の中、被災住宅の汚泥を取り除く作業、家具や畳の除去などに泥まみれ、汗だくになりながら取り組みました。

全国から駆けつけた自治体や緊急消防援助隊、さらには災害派遣要請に基づき出動した陸上自衛隊の皆さんには、人命救助やさまざまな復旧活動への応援やご協力をいただきました。

ご支援いただいた皆様へ

ボランティア、関係機関の皆さんによる人的応援のほか、全国から多くの義援金や救護物資などのご支援をいただきました。

このような温かいご支援やご尽力のおかげをもちまして、被災地では少しずつではありますが、落ち着きを取り戻してきています。

皆様のご厚情に対し、心からお礼申し上げます。



復旧作業に取り組む住民とボランティアの皆さん(福井市)

県では、被災者の方々が1日も早く元どおりの生活を取り戻し、また、経済活動を軌道に乗せて元気を出していただけるよう、被災者の立場に立った本県独自の支援策などできる限りの対策を講じています。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。 <http://info.pref.fukui.jp/zaisei/>

 **BACK**

